

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。
「日本シルク産業の未来を繋ぐ基幹製糸工場の戦略リサーチ」 B事業

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

(1) 目的

事業調査により、碓氷製糸(株)の財務内容及び、事業内容を詳細に把握し、現状分析及び、外部・内部分析により、アクションプランを作成し、改善に向けて実行する。

また、事業検討委員会を設置し、調査結果も踏まえ、次年度以降のA事業につなげる内容の検討、シルク産業全体の活性化策等について検討を行った。

(2) 調査業務

専門化の知見を借り、調査対象企業の現状、財務分析などを行い、アクションプラン等具体的な方策を提言し、収益改善など経営基盤強化を図る。

(3) 委員会

群馬県のシルク産業全体の活性化を目的に、碓氷製糸を始めとしたシルク関連事業者の次年度以降の取り組みを検討する委員会を設置し、地域資源活用等促進事業の活用策等について検討を行う。また、群馬県ひいては日本のシルク産業を継続的振興を図るため、川上から川下（養蚕・製糸・シルク関連事業者）まで、個別及び連携すべき取組についての提言をいただくとともに、調査業務の結果等を参考に、アイデア創出も行った。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

(1) 調査業務

現在の経営状況を把握するため外部環境・内部環境・SWOTなどの分析を行い、課題抽出及び今後の課題解決方法、製品開発の方向性など中長期的な事業計画やアクションプランを含めた業務調査報告書を作成した。

①報告内容

「業務調査報告書」（内部環境・外部環境分析、アクションプラン等）を作成。

②今後の支援

アクションプラン等具体的な方策の提案にもある経営基盤強化のため、財務状況、体制などについて、当機構の専門家や群馬県とも連携して、収益改善に向けた伴走支援を行う。また、川上から川下（養蚕・製糸・シルク関連事業者）までの連携を強化し、新たな市場への参入など群馬県シルク全体の活性化を支援する。

(2) 地域資源活用等促進事業検討委員会

地域資源活用等促進事業について、碓氷製糸(株)を核とした群馬県のシルク産業の発展振興のための方策や令和8年度以降のA事業の活用策を検討する委員会を4回開催した。

①委員会メンバー

- 委員 5名
- オブザーバー 3機関（群馬県・富岡市・安中市）
- 業務調査実施機関 1名（マネジメントパートナーズ(株)）
- 事務局 3名

②第1回地域資源活用等促進事業検討委員会

日時：令和7年9月26日(金)・産業技術センター第1研修室

検討委員会について説明し、碓氷製糸㈱の現状・取組状況の報告、県・市の取組の報告、委員からの意見、今後の検討委員会の進め方について、提案や意見交換を行った。

③第2回地域資源活用等促進事業検討委員会

日時：令和7年10月22日(水)・碓氷製糸株式会社

碓氷製糸㈱からシルク素材・原料の活用状況の説明後、委員から活用等について提案や意見交換を行った。(委員会の前に碓氷製糸㈱の工場見学を実施)

④第3回地域資源活用等促進事業検討委員会

日時：令和7年11月26日(水)・産業技術センター第2研修室

第1回目と第2回目の検討委員会の概要を説明し、次年度以降の地域資源活用等促進事業について提案、意見交換を行った。

⑤第4回地域資源活用等促進事業検討委員会

書面開催：令和8年1月23日(金)

経営資源活用等促進事業報告書や次年度以降のA事業などについて意見聴取し、次年度以降のA事業の計画策定、群馬県シルク産業の支援などの方向性を示した。

【評価〈計画と比較した目標の達成度〉、分析〈実施した結果新たに生じた課題、数値の検証等〉】※計画より進捗が遅れている場合は、その理由も記載してください。

(1) 調査業務

専門家の知見を借り、現状分析から競合など今後の方向性などアクションプランを盛り込んだ業務調査報告書を作成し、調査対象者の今後の方向性を示した。

(2) 地域資源活用等促進事業検討委員会

検討委員会を4回開催し、地域資源活用等促進事業A事業計画(案)の策定や群馬県シルク産業の全体の活性化に向けた支援策等の提案がなされ、群馬県や関係機関とも連携して支援を実施していく。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

(1) 調査業務

業務調査報告書のアクションプラン等に基づき、取締役会で優先順位など今後実行すべきことについて決定いただき、当機構が協力する。また、高齢化による内部管理、営業などの人材が不足している状況であることから、当機構のマネージャーが、財務、内部データ管理など経営に関するアドバイスなど経営基盤強化のため伴走支援を実施する。

(2) 地域資源活用等促進事業検討委員会

検討委員会で提案のあった活性化策など、群馬県シルク全体の支援について、群馬県、富岡市、安中市や支援機関とともに持続的発展に向け連携支援を強固に支援を実施する。

また、現在群馬県では「ぐんまシルク」の認定制度があり、現在、16社の109製品が認定されている。新商品開発や新規参入を支援することで、新たな認定企業数や製品数を増やし、群馬県シルクのブランド化を促進する。